

研究課題名：鉄の文明：起源と形成のパラダイム転換

～文明のターニングポイントで、人類社会存続のメカニズムを解き明かす～



＜研究概要＞

鉄の実用化によって人類社会は飛躍的に進歩したと考えられてきましたが、技術の起源や伴う社会変化、背景とされる環境変化には不明点が残されています。そこで、地表探査や非破壊分析の技術を高精度化し、最古の鉄製品の発見と技術復元に挑みます。また、当時の環境変化と人類の行動変化・技術選択の変化をフィールド・プロジェクトで明らかにします。文明のターニングポイントについて、技術、環境、社会のインタラクションを長期スパンで解明することで、人類社会を今に至らしめているメカニズムについて新たなパラダイムを構築します。

ありまつ ゆい

氏名：有松 唯

所属機関：広島大学

役職：准教授

(歴史学、考古学、

博物館学/考古学)

鉄のイノベーション

- ① 鉄の技術の起源について年代と地域の特定
- ② 鉄の技術開発のプロセスの解明
- ③ 鉄の技術の東洋への普及プロセスの解明

鉄の文明 起源と形成

人類のアダプテーション

- ① 気候変動のインパクト、伴う環境変化の詳細の解明
- ② 人類の行動変化と技術選択の変化を明らかにする
- ③ 人類社会のレジリエンスのメカニズムと、鉄の役割を明らかにする

＜略歴＞

2005年 東京大学文学部卒業、2007年 東京大学大学院人文社会系研究科修士課程修了、2008～2011年 リヨン第2大学博士課程留学。2011年 同大学PhD取得。2011年 日本学術振興会 特別研究員（PD）。2014年 東北大学学際科学フロンティア研究所 助教。2016年 国際連合教育科学文化機関 専門官補。2019年より、広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授。